

厚生労働大臣 殿

山口大学医学部附属病院長
松崎 益徳

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	178人	99人	277人	看護業務補助	20人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	8.8人	14.8人	理学療法士	3人	臨床検査技師	42人
薬剤師	24人	10人	34人	作業療法士	2人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	19人	0人	19人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	550人	12.7人	562.7人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	1人
准看護師	1人	0人	1人	栄養士	0人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	1人	事務職員	178人
管理栄養士	3人	4人	7人	診療放射線技師	28人	その他の職員	46人

- (注) 1 報告を行う該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	575.3人	14.9人	590.2人
1日当たり平均外来患者数	1,279.0人	45.9人	1,324.9人
1日当たり平均調剤数	2,315剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水泡症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	12人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈成形術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	13人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮線筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	23人	・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	26人
・多発性硬化症	33人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	44人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	37人
・全身性エリテマトーデス	84人	・多系統委縮症	14人
・スモン	2人	・表皮水泡症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	22人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	25人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	74人	・重症急性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	46人	・特発性大腿骨頭壊死症	53人
・結節性動脈周囲炎	5人	・混合性結合組織病	19人
・潰瘍性大腸炎	110人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	12人	・特発性間質性肺炎	8人
・ピュルガー病	26人	・網膜色素変性症	12人
・天疱瘡	19人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	25人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	51人	・神経繊維腫症	6人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	114人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病（ファブリー [Fabry] 病）含む	2人
・後縦靭帯骨化症	58人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	3人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	11回, 22症例	
剖検の状況	剖検症例数 50 例	剖検率 25.6 %

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

1/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝臓再生療法に有用な間葉系幹細胞自動分離装置の開発	坂井田 功	第一内科	51,000,000	補 ⑤委 財団法人やまぐち産業振興財団
癌幹細胞の発生分化制御機構の解析	坂井田 功	第一内科	1,700,000	⑤補 委 文部科学省 科学研究費補助金
効率的な骨髄細胞を用いた肝臓再生療法開発のための基礎研究	寺井 崇 二	第一内科	1,800,000	⑤補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高輝度白色LEDを用いた内視鏡の開発と消化器疾患の診断・治療への応用	沖田 極	第一内科	50,000,000	補 ⑤委 財団法人やまぐち産業振興財団
骨髄細胞の肝臓への定着、分化を促進する血清因子の解析	沖田 極	第一内科	1,800,000	⑤補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究	沖田 極	第一内科	4,500,000	⑤補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
近赤外線、超音波等を利用する高性能動脈硬化診断システムの開発	松崎 益 徳	第二内科	52,000,000	補 ⑤委 財団法人やまぐち産業振興財団
スタチン製剤による心血管系への多面的作用に関する調査研究	松崎 益 徳	第二内科	10,500	補 ⑤委 財団法人循環器病研究振興財団
心筋収縮不全の治療標的としてのCa ²⁺ 制御蛋白	松崎 益 徳	第二内科	1,900,000	補 ⑤委 国立循環器病センター
催不整脈右室心筋症 (ARVC) の病態と治療に関する研究	松崎 益 徳	第二内科	800,000	補 ⑤委 国立循環器病センター
慢性心不全でのCa ²⁺ 制御異常を是正する分子標的療法の開発	松崎 益 徳	第二内科	6,400,000	⑤補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
突発性心筋症に関する調査研究	松崎 益 徳	第二内科	1,000,000	⑤補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

小計 12

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	松 崎 益 徳	第二内科	1,800,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
リアノジン受容体安定化による慢性心不全の分子標的療法の確立	矢 野 雅 文	第二内科	10,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
拡張不全の新しいメカニズム：細胞内カルシウム過負荷とタイトンの重要性	矢 野 雅 文	第二内科	1,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
舌組織由来幹細胞による心筋再生療法の開発	三 浦 俊 郎	第二内科	2,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ギャップ結合リモデリングへのレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の関与	大 草 知 子	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
冠動脈不安定粥腫の同定とその効果的破綻予防、治療法の開発に関する多施設共同研究	廣 高 史	第二内科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
致死的不整脈治療標的としてのリアノジン受容体	山 本 健	第二内科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
悪性高熱症、致死的不整脈に共通したリアノジン受容体異常の分子学的解明と治療	小 林 茂 樹	第二内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
インスリン抵抗性による膵β細胞小胞体ストレスと糖尿病発症に関する研究	谷 澤 幸 生	第三内科	8,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
GLUT4小胞のインスリン・カルシウム依存性膜融合を促進する新規蛋白の同定と解析	谷 澤 幸 生	第三内科	3,300,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
糖尿病発症遺伝子 WFS1 の機能解明と新規治療法の開発	谷 澤 幸 生	第三内科	3,300,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

3/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
GLUT4 結合アンキリン構造蛋白によるインスリン依存性糖取り込み促進機構の解析	奥 屋 茂	第三内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
造血器悪性腫瘍における小胞体ストレス応答蛋白の解析	湯 尻 俊 昭	第三内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
糖輸送が活発に行われる細胞膜「ホットスポット」の同定とその機能解析	江 本 政 広	第三内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血液脳関門・血液神経関門を標的とした難治性神経疾患発症の解明と新規治療法開発	神 田 隆	神経内科	7,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性疾患の画期的診断・治療法等に関する研究	神 田 隆	神経内科	1,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患移管する調査研究	神 田 隆	神経内科	900,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	川 井 元 晴	神経内科	700,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
自己免疫性末梢神経疾患における新たな抗糖脂質抗体の同定	古 賀 道 明	神経内科	1,800,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
うつ病の視床下部-下垂体-副腎系機能異常とグルココルチコイド・ホルモン受容体との関係	渡 邊 義 文	精神科神経科	1,100,000	補 委	国立精神・神経センター
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	渡 邊 義 文	精神科神経科	650,000	補 委	国立精神・神経センター
うつ病の素因モデル動物における、神経樹状突起と spine の可塑性障害の検討	渡 邊 義 文	精神科神経科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 11

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒトを対象にした精神疾患の生物学的病態解明に関する研究	渡 邊 義 文	精神科神経科	4,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
気分障害におけるグルココルチコイド受容体遺伝子の選択的スプライシング異常の検討	内 田 周 作	精神科神経科	4,000,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	古 川 漸	小児科	800,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患移管する調査研究	古 川 漸	小児科	800,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市 山 高 志	小児科	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市 山 高 志	小児科	2,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
気管支喘息における末梢血単球及び肺胞マクロファージのロイコトリエン受容体機能	市 山 高 志	小児科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
自己骨髄細胞を用いた血管再生療法の治療効果に影響を及ぼす因子の同定	濱 野 公 一	第一外科	8,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血管再生における虚血組織環境因子が骨髄幹細胞の生存と分化に及ぼす影響	古 谷 彰	第一外科	2,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨髄幹細胞移植による心機能改善の作用機序の解明	美 甘 章 仁	第一外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞レベルでの解析による骨髄細胞移植治療の心機能改善機序の解明	森 景 則 保	第一外科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

5/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄幹細胞から心筋細胞への分化過程における分子機構の解明	李 桃 生	第一外科	1,300,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
遺伝子解析データベースを基盤とした肝臓における個別化医療システムの開発	岡 正 朗	第二外科	27,800,000	補 委 財団法人やまぐち産業 振興財団
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究- 第Ⅲ相臨床試験	岡 正 朗	第二外科	126,000	補 委 財団法人先端医療振興 財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験 (治癒切除直腸癌に対する UFT 療法と TS-1 療法との比較検討)	岡 正 朗	第二外科	151,200	補 委 財団法人がん集学的治 療研究財団
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発 high-risk 群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	岡 正 朗	第二外科	63,000	補 委 財団法人先端医療振興 財団
肝臓の網羅的遺伝子および蛋白解析に基づく新規診断と創薬の研究開発	岡 正 朗	第二外科	6,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオミクスに基づいた自己抗体プロファイルによる肝癌診断システムの開発	岡 正 朗	第二外科	1,000,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
病期別にみた肝臓治療法の費用効果および QOL の観点からみた有効性に関する研究	岡 正 朗	第二外科	500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
異種小腸粘膜下層 (サージシス TM) と間葉系幹細胞を用いた組織再生に関する研究	上 野 富 雄	第二外科	2,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオミクスに基づいた食道癌診断システムの開発	安 部 俊 弘	第二外科	1,800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 10

1 研究費補助等の実績

6/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝細胞癌の発癌関連タンパク質の検討と血清自己抗体による予後診断システムの開発	高 島 元 成	第二外科	1,800,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
培養過程を要しない脂肪由来幹細胞移植による骨軟骨組織の修復・再生への応用	田 中 浩	整形外科	2,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
プロゲステロン・レセプター陽性ヒト骨芽細胞の増殖・分化・機能の制御に関する研究	石 田 洋 一 郎	整形外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
他人からの手、足（四肢）同種移植の実験的研究-キメリズムの成立と免疫寛容の導入-	松 村 慶 一	整形外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	武 藤 正 彦	皮膚科	900,000	補 委	山口県
表皮内ランゲルハンス細胞におけるクローディンファミリー	森 田 和 政	皮膚科	2,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
中心体複製異常を指標とした膀胱癌の予後予測マーカーの開発	松 山 豪 泰	泌尿器科	2,000,000	補 委	科学技術振興機構
発癌から顕性前立腺癌に至る遺伝子および遺伝子周囲変異の検索	松 山 豪 泰	泌尿器科	600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
腹膜繊維化症と慢性移植腎症の病理組織学的解析ならびに遺伝子多型の検討	土 田 昌 弘	泌尿器科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
眼組織の再生に関する研究	西 田 輝 夫	眼科	5,000,000	補 委	科学技術振興機構
アレルギー性結膜疾患の病態における結膜-角膜の組織相関性の解明	熊 谷 直 樹	眼科	2,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 11

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

7/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
アレルギー性結膜疾患における結膜上皮細胞の関与	福田 憲	眼科	2,500,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
角膜上皮の分化形質を維持した細胞株の樹立及び分化機構の解明	木村 和博	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌根治治療後の TS-1 補助化学療法の見直し	山下 裕司	耳鼻咽喉科	378,000	補 委	財団法人先端医療振興財団
刺激臭に対する忌避行動による実験動物の嗅覚検査	山下 裕司	耳鼻咽喉科	700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	700,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
いびきの音響解析による睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
瞳孔対光反応を用いた他覚的嗅覚検査法の臨床応用	綿貫 浩一	耳鼻咽喉科	700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
MAPK 阻害剤による内耳有毛細胞保護効果の見直し	菅原 一真	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
薬剤徐放システムを利用した内耳傷害治療モデル動物の作成	橋本 誠	耳鼻咽喉科	900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌患者における CYP3A4 遺伝子多型の関与	橋本 智子	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
北米放射線学会分散型サーバーを応用した専門医教育のためのオンライン電子教材の構築	松永 尚文	放射線科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
在宅医療への適用可能な肺聴診システムの開発	松本 常男	放射線科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 12

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
サブセカンド MRI を用いた 4次元 MR 血流マッピングによる門脈内血流パターンの評価	伊 東 克 能	放射線科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
食道癌センチネルリンパ節マッピングのための経内視鏡的 CT リンパグラフィの開発	藤 田 岳 史	放射線科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
拡散テンソル、perfusion MRI による慢性軸索損傷の病態評価、予後予測	古 川 又 一	放射線科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ゲノム 2次元電気泳動法による子宮筋腫特異的なゲノム変化の同定	山 縣 芳 明	産科婦人科	600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
中枢神経系の虚血耐性機序の解明とクロストレランスの治療応用	坂 部 武 史	麻酔蘇生科	4,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄保護におけるインスリンの新たな役割に関する研究	松 本 美 志 也	麻酔蘇生科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血管内皮増殖因子の修飾による脳浮腫形成機序の解明と治療応用に関する研究	飯 田 晴 彦	麻酔蘇生科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒスチジン・ヒスタミンによる抗炎症作用と脊髄保護効果に関する研究	山 下 敦 生	麻酔蘇生科	1,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
虚血性中枢神経障害の病態解明と好中球エラスターゼ阻害薬の効果に関する研究	平 田 孝 夫	麻酔蘇生科	2,000,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
無症候性脊髄脂肪腫の手術適応に関する研究	鈴 木 倫 保	脳神経外科	700,000	補 委	国立精神・神経センター
脳低温の中枢神経保護作用に関する研究：グルタミン酸、一酸化窒素そしてアポトーシス	藤 澤 博 亮	脳神経外科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

9/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
血管内微細振動子による血栓の破碎と低侵襲回収療法の開発	加藤 祥一	脳神経外科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Stem cell の脳血液関門通過に関する基礎的研究	久保田 尚	脳神経外科	200,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
上皮細胞増殖因子のリン酸化抑制によるフリーラジカルスカベンジャーの脳腫瘍抑制効果	盛岡 潤	脳神経外科	177,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
連続気孔構造を有する炭酸アパタイトフォームの顎骨再建材料としての有用性	上山 吉哉	歯科口腔外科	7,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔癌における染色体不安定性の解析とその制御による分子標的治療応用への基礎的検討	三原 眞理子	歯科口腔外科	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
Array-based CGH法を用いた口腔扁平上皮癌のゲノム解析	内田 堅一郎	歯科口腔外科	2,500,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
細胞表面抗原分子を標的とした免疫治療	日野田 裕治	臨床検査医学	9,000,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
子宮体癌の独立した予後不良因子である 11q23 欠失領域における癌抑制遺伝子の同定	末 廣 寛	臨床検査医学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析による重傷頭部外傷患者の脳障害と低体温効果の解明	前川 剛志	救急医学	12,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
侵襲の運命決定因子 HMGB1 を分子標的とした究明的治療法の開発	前川 剛志	救急医学	1,500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
ICU入室患者に対するせん妄の新しい診断法の有用性と危険因子	鶴田 良介	救急医学	2,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 11

1 研究費補助等の実績

10/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
超音波組織トラッキング法による左室捻れ運動の検討	村 田 和 也	検査部	2,500,000	③補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
NMDA 受容体拮抗薬の脊髄虚血時の脊髄保護作用に関する研究	佐 伯 仁	手術部	1,500,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金
癌再発・進展における血管内皮前駆細胞の役割	上 田 和 弘	手術部	1,600,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部癌センチネルリンパ節マッピングのための 3D CTリンパグラフィの開発	菅 一 能	放射線部	1,700,000	③補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	藤 井 康 彦	輸血部	8,000,000	③補委 厚生労働省 科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いたクモ膜下出血患者の病態解明	金 田 浩 太 郎	先進救急医療センター	1,800,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金
脳低温療法の有効性ープロテオーム解析を用いた脳損傷と脳保護効果の検討	小 田 泰 崇	先進救急医療センター	2,100,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金
医師の臨床パフォーマンスアセスメントに関する研究	福 本 陽 平	総合診療部	1,000,000	③補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
双胎間輸血症候群の発症機序と病態の解明	中 田 雅 彦	周産母子センター	2,200,000	③補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
卵の質の低下に関与する因子の解明	田 村 博 史	周産母子センター	1,100,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金
周産期慢性低酸素血症が児の発育・発達に及ぼす影響についての研究	住 江 正 大	周産母子センター	1,600,000	③補委 文部科学省 科学研究費補助金

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

11/11

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
病期別にみた肝臓治療法の費用効果および QOL の観点からみた有効性に関する研究	井 上 裕 二	医療情報部	2,000,000	③ 補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
高血圧性心肥大形成過程における TLR 4 の役割	梅 本 誠 治	臨床試験支援センター	1,700,000	③ 補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 2

計 1 1 3

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Anticancer Research 2006;26:4713-9	Elevated levels of circulating cell-free DNA in the blood of patients with hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma	Iizuka H, Sakai a I, Moribe T, et al	第一内科
Stem Cells 2006;24:2292-8	Improved liver function in patients with liver cirrhosis after autologous bone marrow cell infusion therapy	Terai S, Ishikawa T, Omori K, et al.	第一内科
Proteomics 2006;6:2564-70	Proteomic analysis of serum marker proteins in recipient mice with liver cirrhosis after bone marrow cell transplantation	Yokoyama Y, Terai S, Ishikawa T, et al.	第一内科
International Journal of Oncology 2006;28:625-31	Protein level of apolipoprotein E increased in human hepatocellular carcinoma	Yokoyama Y, Kuramitsu Y, Takashima M, et al.	第一内科
Cell Tissue Research 2006;323:221-31	Fibroblast growth factor 2 facilitates the differentiation of transplanted bone marrow cells into hepatocytes	Ishikawa T, Terai S, Urata Y, et al.	第一内科
Am J Cardiol, 97(7) : 1025-1028, 2006	Usefulness of Mitral Annular Velocity in Predicting Exercise Tolerance in Patients With Impaired Left Ventricular Systolic Function	Yasuyuki Hadano, Kazuya Murata, Takeshi Yamamoto, Hideki Kunichika, Tomo Matsumoto, Eizo Akagawa, Takashi Sato, Takeo Tanaka, Yoshio Nose, Nobuaki Tanaka, Masunori Matsuzaki	第二内科
FASEB J, 20(8) : 1197-1199, 2006	Inhibition of protein phosphatase 1 by inhibitor-2 gene delivery ameliorates heart failure progression in genetic cardiomyopathy	Michio Yamada, Yasuhiro Ikeda, Masafumi Yano, Koichi Yoshimura, Shizuka Nishino, Hidekazu Aoyama, Lili Wang, Hiroki Aoki, Masunori Matsuzaki	第二内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Am J Physiol Heart Circ Physiol, 291 : H2522-H2532, 2006	Comparative effects of pitavastatin and probucol on oxidative stress, Cu/Zn superoxide dismutase, PPAR γ , and aortic stiffness in hypercholesterolemia	Kyoko Umeji, Seiji Umemoto, Shinichi Itoh, Masakazu Tanaka, Shinji Kawahara, Tohru Fukai, Masunori Matsuzaki	第二内科
Hypertens Res, 29(12) : 1013-1020, 2006	High Ambient Pressure Produces Hypertrophy and Up-Regulates Cardiac Sarcoplasmic Reticulum Ca ²⁺ Regulatory Proteins in Cultured Rat Cardiomyocytes	Takashi Sato, Tomoko Ohkusa, Shinsuke Suzuki, Tomoko Nao, Masafumi Yano, Masunori Matsuzaki	第二内科
Circ J, 71(1) : 57-62, 2007	Different Effect of the Pure Na ⁺ Channel-Blocker Pilsicainide on the ST-Segment Response in the Right Precordial Leads in Patients With Normal Left Ventricular Function	Takeshi Ueyama, Akihiko Shimizu, Toshihiko Yamagata, Masahiro Esato, Masato Ohmura, Yasuhiro Yoshiga, Masashi Kanemoto, Ryousuke Kametani, Akira Sawa, Shinsuke Suzuki, Naoki Sugi, Masunori Matsuzaki	第二内科
Int J Hematol 83:373-374, 2006.	A Case of Hand-Mirror Cell Variant of Multiple Myeloma.	Yujiri T, Katsuki K, Miyazaki M, Ando T, Tsuru M, Nomiyama J, Tanizawa Y.	第三内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Cell Biol. 173:665-671, 2006.	Myosin motor Myo1c and its receptor NEMO/IKK- γ promote TNF- α -induced serine ³⁰⁷ phosphorylation of IRS-1.	Nakamori Y, Emoto M, Fukuda N, Taguchi A, Okuya S, Tajiri M, Miyagishi M, Taira K, Wada Y, Tanizawa Y.	第三内科
Leukemia. 20:744-745, 2006.	Donor cell-derived acute myeloid leukemia after unrelated umbilical cord blood transplantation.	Ando T, Yujiri T, Mitani N, Takeuchi H, Nomiyama J, Suguchi M, Matsubara A, Tanizawa Y.	第三内科
Diabetologia. 2006 Sep;49(9):2217-8.	Plasma concentrations of vascular endothelial growth factor are associated with peripheral oedema in patients treated with thiazolidinedione.	Emoto M, Fukuda N, Nakamori Y, Taguchi A, Okuya S, Oka Y, Tanizawa Y.	第三内科
Br J Haematol. 2006 Nov;135(4):567-9.	Elevation of serum high-mobility group box 1 protein during granulocyte colony-stimulating factor-induced peripheral blood stem cell mobilisation.	Tagami K, Yujiri T, Tanimura A, Mitani N, Nakamura Y, Ariyoshi K, Ando T, Fujii Y, Tanizawa Y.	第三内科
Endocrine J. 2006 Dec;53(6):841-51.	Estrogen Receptor alpha Regulates Insulin Sensitivity through IRS-1 Tyrosine Phosphorylation in Mature 3T3-L1 Adipocytes.	Muraki K, Okuya S, Tanizawa Y.	第三内科
Biochem Biophys Res Commun 2006; 340: 263-267.	In vivo delivery of small interfering RNA targeting brain capillary endothelial cells.	Hino T, Yokota T, Ito S, Nishina K, Kang Y-S, Mori S, Hori S, Kanda T, Terasaki T, Mizusawa H	神経内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Neuroimmunol 2006; 174: 108-118.	T cell gene expression profiling identifies distinct subgroups of Japanese multiple sclerosis patients.	Sato J-I, Nakanishi M, Koike F, Onoue H, Aranami T, Yamamoto T, Kawai M, Kikuchi S, Nomura K, Yokoyama K, Ota K, Saito T, Ohta M, Miyake S, Kanda T, Fukazawa T, Yamamura T	神経内科
J Infect Dis 2006; 193: 547-555.	Comprehensive analysis of bacterial risk factors for developing Guillain-Barré syndrome after Campylobacter jejuni enteritis.	Koga M (correspondence author), Gilbert M, Takahashi M, Li J, Koike S, Hirata K, Yuki N	神経内科
J Biol Chem 2006; 281: 11480-11486.	Identification of a sialate-O-acetyltransferase from Campylobacter jejuni: demonstration of direct transfer to the C9 position of terminal- α -2, 8-linked sialic acid.	Houliston RS, Endtz HP, Yuki N, Li J, Jarrell HC, Koga M, van Belkum A, Karwaski M-F, Wakarchuk WW, Gilbert M	神経内科
J Neuroimmunol 2006; 177: 201-208.	Spectrum of neurological diseases associated with antibodies to minor gangliosides GM1b and GalNAc-GD1a.	Tatsumoto M, Koga M, Gilbert M, Odaka M, Hirata K, Kuwabara S, Yuki N	神経内科
Biological Psychiatry	Reduced glucocorticoid receptor α expression in mood disorder patients and first-degree relatives	Matsubara T, Funato H, Kobayashi A, Nobumoto M, Watanabe Y	精神科
Brain Research	Differential effects of antidepressants on dexamethasone-induced nuclear translocation and expression of glucocorticoid receptor	Funato H, Kobayashi A, Watanabe Y	精神科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry	The effect of placebo administration on the first-night effect in healthy young volunteers	Suetsugi M, Mizuki Y, Yamamoto K, Uchida S, Watanabe Y	精神科
Journal of the Neurological Sciences	Serum levels of matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitors of metalloproteinases 1 in subacute sclerosing panencephalitis.	Ichiyama T	小児科
Naunyn-Schmiedeberg's Archives of Pharmacology	Anti-inflammatory effect of intravenous immunoglobulin in comparison with dexamethasone in vitro: implication for treatment of Kawasaki disease.	Makata H	小児科
Arthritis & Rheumatism	A severe case of chronic infantile neurologic, cutaneous, articular syndrome treated with biologic agents.	Matsubara T	小児科
Cytokine	Analysis of serum and cerebrospinal fluid cytokine levels in subacute sclerosing panencephalitis in Papua New Guinea.	Ichiyama T	小児科
Journal of Neuroimmunology	Serum levels of matrix metalloproteinase-9 and its tissue inhibitor (TIMP-1) in acute disseminated encephalomyelitis.	Ichiyama T	小児科
American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology	Impaired potency of bone marrow mononuclear cells for inducing therapeutic angiogenesis in obese diabetic rats	Tao-Sheng Li, Akira Furutani, Masaya Takahashi, Mako Ohshima, Shu-Lan Qin, Toshiro Kobayashi, Hiroshi Ito, Kimikazu Hamano	第一外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
The Annals of Thoracic Surgery	Pravastatin improves remodeling and cardiac function after myocardial infarction by an antiinflammatory mechanism rather than by the induction of angiogenesis	Tao-Sheng Li, Masaya Takahashi, Ryo Suzuki, Toshiro Kobayashi, Hiroshi Ito, Akihito Mikamo, Kimikazu Hamano	第一外科
American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology	Cytokines produced by bone marrow cells can contribute to functional improvement of the infarcted heart by protecting cardiomyocytes from ischemic injury	Masaya Takahashi, Tao-Sheng Li, Ryo Suzuki, Toshiro Kobayashi, Hiroshi Ito, Yoshitaka Ikeda, Masunori Matsuzaki, Kimikazu Hamano	第一外科
Circulation Research	Cholesterol primes vascular smooth muscle to induce Ca ²⁺ sensitization mediated by a sphingosylphosphorylcholine-rho-kinase pathway. Possible role for membrane raft	Noriyasu Morikage, H. Kishi, M. Sato, F. Guo, S. Shirao, T. Yano, M. Soma, Kimikazu Hamano, Kensuke Esato, Sei Kobayashi	第一外科
Circulation Journal	In vitro assessment of the effect of interleukin-1 β on angiogenic potential of bone marrow cells	Shu-Lan Qin, Tao-Sheng Li, Masaya Takahashi, Kimikazu Hamano	第一外科
Surgery. 2006 Feb;139(2):224-35.	CT lymphography-navigated sentinel lymph node biopsy in patients with superficial esophageal cancer.	Hayashi H	第二外科
Anticancer Res. 2006 Nov-Dec;26(6C):4713-9.	Elevated levels of circulating cell-free DNA in the blood of patients with hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma.	Iizuka N	第二外科
Int J Oncol. 2006 Dec;29(6):1445-51.	Identification of ID2 associated with invasion of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma by gene expression profile.	Tsunedomi R	第二外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Oncol Rep. 2006 Dec;16(6):1285-91.	Molecular features linked to the growth-inhibitory effects of gemcitabine on human pancreatic cancer cells.	Toshimitsu H	第二外科
Oncol Rep. 2006 Aug;16(2):381-7.	Relation between Cytokine Promoter Gene Polymorphism and Toxicity of 5-Fluorouracil plus Cisplatin Chemotherapy.	Sakamoto K	第二外科
Proteomics. 2006 Jul;6(13):3894-900.	Proteomic analysis of autoantibodies in patients with hepatocellular carcinoma.	Takashima M	第二外科
Int J Oncol. 2006 May;28(5):1043-55.	Esophageal squamous cell carcinomas with distinct invasive depth show different gene expression profiles associated with lymph node metastasis.	Sato T	第二外科
J Spinal Disord Tech Vol.19 No.5 July2006	Investigation of Motor Dominant C5 Paralysis After Laminoplasty From the Results of Evoked Spinal Cord Responses	Kazuo Kaneko	整形外科
Clinical Neurophysiology 117(2006)1467-1473	Epidurally recorded spinal cord evoked potentials in patients with cervical myelopathy and normal central motor conduction time measured by transcranial magnetic stimulation	Kazuo Kaneko	整形外科
J Spinal Disord Tech Vol.00 No.00 July2006	Intraoperative Electrophysiologic Studies on the Functions of Nerve Roots Involved in Cervical Dumbbell-shaped Schwannoma and Their Clinical Utility	Kazuo Kaneko	整形外科
Transplant International	Prolonged survival of rat whole-limb allografts treated with cyclophosphamide,granulocyte colony-stimulation factor and FK506	Keiichi Muramatsu	整形外科
ANTICANCER RESEARCH	Reconstruction of Massive Femur Defect with Free Vascularized Fibula Graft Following Tumor Resection	Keiichi Muramatsu	整形外科
JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH 2006	The Role of Cyclophosphamide and Granulocyte Colony-Stimulation Factor in Achieving High-Level Chimerism in Allografted Limbs	Keiichi Muramatsu	整形外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Arch Orthop Trauma Surg	Use of the AO hook-plate for treatment of unstable fractures of the distal clavicle	Keiichi Muramatsu	整形外科
Mycosis in press	A case of onychomycosis due to <i>Aspergillus sydowii</i> diagnosed using DNA sequence analysis.	Yumiko Takahata, Masataro Hiruma, Takashi Sugita, Masahiko Muto	皮膚科
British Journal of Dermatology in press	<i>Malassezia</i> flora in atopic dermatitis differs between adults and children.	Yumiko Takahata, Takashi Sugita, Masataro Hiruma, Masahiko Muto	皮膚科
British Journal of Dermatology in press	Quantitative analysis of <i>Malassezia</i> in the scale of patients with psoriasis using a real-time PCR assay.	Yumiko Takahata, Takashi Sugita, Masataro Hiruma, Masahiko Muto	皮膚科
Journal of Dermatology, in press	Necrotizing fasciitis of the leg due to <i>Photobacterium damsela</i>	Yoshitaka Nakamura, Miho Uchihira, Makoto Ichimiya, Kazumasa Morita, Masahiko Muto	皮膚科
Journal of Dermatology, in press	A case of purpura fulminans due to septicemia after artificial abortion.	Makoto Ichimiya, Yuko Takita, Michiya Yamaguchi, Masahiko Muto	皮膚科
Molecular & Cellular Proteomics	Mass spectrometry analysis of the native protein complex containing actinin-4 in prostate cancer cells	Tomohiko Hara	泌尿器科
Pathobiology	Association between DNA repair gene polymorphism and p53 alterations in Japanese patients with muscle-invasive bladder cancer	Shigeru Sakano	泌尿器科
Anticancer Research	Gefitinib-related gene signature in bladder cancer cells identified by a cDNA microarray	Ryo Inoue	泌尿器科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Transplant Immunology	Evidence that FTY720 induces rat thymocyte apoptosis	Naohito Isoyama	泌尿器科
International Journal of Urology	Follow up of surgical repair of female pelvic floor disorders by a mailed questionnaire	Hideyasu Matsuyama	泌尿器科
Experimental Eye Research 83(5):1196-1204,2006	Promotion by fibronectin of collagen gel contraction mediated by human corneal fibroblasts	Liu Y	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 47(9):3796-3800,2006	Inhibition by triptolide of chemokine, proinflammatory cytokine, and adhesion molecule expression induced by lipopolysaccharide in corneal fibroblasts.	Lu Y	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2006;47(8):3286-3292.	Promotion of Corneal Epithelial Wound Healing by a Tetrapeptide (SSSR) Derived from IGF-1.	Yamada N	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci., 47(7):2857-2864, 2006	Inhibition of matrix metalloproteinase-3 synthesis in human conjunctival fibroblasts by interleukin-4 or interleukin-13.	Fukuda K	眼科
Exp Eye Res 83(1): 76-83,2006	Correlation of Proliferative and Anti-Apoptotic Effects of HGF, Insulin, IGF-1, IGF-2, and EGF in Human Corneal Epithelial Cells.	Yanai R	眼科
2005 The Year Book of OTOLARYNGOLOGY-HEAD AND NECK SURGERY 24~25, April, 2006	Inner ear changes with intracochlear gentamicin administration in guinea pig	Takeshi Okuda Kazuma Sugahara Hiroaki Shimogori Hiroshi Yamashita	耳鼻咽喉科
Brain Research 1096:113~119, July, 2006	The systemic application of diazepam facilitates the reacquisition of a well-balanced vestibular function in a unilateral vestibular re-input model with intracochlear tetrodotoxin infusion using an osmotic pump	Kenji Takeno Hiroaki Shimogori Tsuyoshi Takemoto Kuniyoshi Tanaka Takefumi Mikuriya Hiroshi Orita Hiroshi Yamashita	耳鼻咽喉科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Mol Carcinog 45(5):344~348, July, 2006 May	Interaction of OGG1 Ser326Cys polymorphism with cigarette smoking in head and neck squamous cell carcinoma	Tomoko Hashimoto K.Uchida N.Okayama Yuji Imate Y.Suehiro Y.Hamanaka Y.Ueyama Hiroshi Yamashita Y.Hinoda	耳鼻咽喉科
Hearing Research 221:128~135, 2006 August	JNK signaling in neomycin-induced vestibular hair cell death	Kazuma Sugahara Edwin W. Rubel Lisa L. Cunningham	耳鼻咽喉科
Tumour Biol 27(6):334~338, 2006.Oct	ALDH2 1510 G/A(Glu487Lys) Polymorphism Interaction with Age In Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Tomoko Hashimoto K.Uchida N.Okayama Yuji Imate Y.Suehiro Y.Ueyama Hiroshi Yamashita Y.Hinoda	耳鼻咽喉科
European Journal of Pharmacology 554:223~228, 2007	Edaravone protects the vestibular periphery from free radical-induced toxicity in response to perilymphatic application of (±)- α -amino-3-hydroxy-5-methyl-isoxazole-4-propionic acid	Hiroaki Shimogori Tsuyoshi Takemoto Takefumi Mikuriya Hiroshi Yamashita	耳鼻咽喉科
Journal of Magnetic Resonance Imaging	Correlation between diffusion in lumbar intervertebral disks and lumbar artery status: Evaluation with fresh blood imaging technique	Osamu Tokuda, Munemasa Okada, Takeshi Fujita, Naofumi Matsunaga	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Foot & Ankle Inter	Kinematic MRI of the normal ankle ligaments using a specially designed passive positioning device	Osamu Tokuda, Hitomi Awaya, Kotaro Taguchi, Naofumi Matsunaga	放射線科
Nucl Med Commun	Characterization of Xenon-133 gas washout in pulmonary emphysema with dynamic xenon-133 SPECT functional images	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Tomio Yamashita, Mohammed Zaki, Naofumi Matsunaga.	放射線科
<u>J Comput Assist Tomogr.</u>	Comprehensive assessment of lung CT attenuation alteration at perfusion defects of acute pulmonary thromboembolism with breath-hold SPECT-CT fusion images	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Hideyuki Iwanaga, Norio Hayashi, Sayaka Seto, Naofumi Matsunaga:	放射線科
J Comput Assist Tomogr	Lung diseases in patients with common variable immunodeficiency: Chest radiographic and computed tomographic findings	Nobuyuki Tanaka, Jeung Sook Kim, Christopher A. Bates, Kevin K. Brown, Carlyne D. Cool, John D. Newell, and David A. Lynch	放射線科
Oncology Reports 18:175-179 2007	E-cadherin increases squamous cell carcinoma antigen expression through phosphatidylinositol-3 kinase-Akt pathway in squamous cell carcinoma cell lines.	Nakagawa T, Murakami A, Torii M, Nawata S, Takeda O, Sugino N.	産科婦人科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Placenta 28, Suppl A, Trophoblast Res 21:S133-S136, 2007	The role of oxygen radical-mediated signaling pathways in endometrial function	Sugino N	産科婦人科
Placenta 28, Suppl A, Trophoblast Res 21:S48-S50, 2007	Oxidative stress and pregnancy outcome: A workshop report	Sugino N, Takiguchi S, Umekawa T, Heazell A, Caniggia I	産科婦人科
Fetal Diagn Ter 22:7-9, 2007	A case of monochorionic twin pregnancy complicated with intrauterine single fetal death with successful treatment of intrauterine blood transfusion in the surviving fetus	Nakata M, Sumie M, Murata S, Miwa I, Kusaka E, Sugino N	産科婦人科
Int J Oncol 29:1231-1235, 2006	Suppression of SCC antigen promotes cancer cell invasion and migration through the decrease in E-cadherin expression	Murakami A, Nakagawa T, Kaneko M, Nawata S, Takeda O, Kato H, Sugino N	産科婦人科
Animal Science Journal 77:556-565, 2006	Roles of reactive oxygen species in the corpus luteum	Sugino N	産科婦人科
Oncology Reports 16:399-404, 2006	Different expression patterns of intact forms of squamous cell carcinoma antigens between normal and malignant cervical squamous: nondenaturing polyacrylamide gel electrophoretic analysis	Nawata S, Murakami A, Torii M, Nakagawa T, Sueoka K, Takeda O, Suminami Y, Nakamura K, Kato H, Sugino N	産科婦人科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Reproduction 131:351-360, 2006	Changes in vascular leakage and expression of angiopoietins in the corpus luteum during pregnancy in rats	Matsuoka-sakata A, Tamura H, Adsada H, Miwa I, Taketani T, Yamagata Y, Sugino N	産科婦人科
Anesth Analg 102(6):1722-1727, 2006	The effects of cyclosporin A and insulin on ischemic spinal cord injury in rabbits	Tsuruta S, Matsumoto M, Fukuda S, Yamashita A, Cui YJ, Wakamatsu H, Sakabe T.	麻酔科蘇生科
Anesth Analg 103(3):641-645, 2006	Changes in Electroencephalographic bicoherence during sevoflurane anesthesia combined with intravenous fentanyl	Morimoto Y, Hagihira S, Yamashita S, Iida Y, Matsumoto M, Tsuruta S, Sakabe T.	麻酔科蘇生科
Brain Research 1130:214-222, 2007	The temporal profile of genomic responses and protein synthesis in ischemic tolerance of the rat brain induced by repeated hyperbaric oxygen	Hirata T, Cui YJ, Funakoshi T, Mizukami Y, Ishikawa Y, Shibasaki F, Matsumoto M, Sakabe T.	麻酔科蘇生科
Our Strategy, Springer : 386-390, 2006	Management of Patients with Traumatic Brain Injury	Hirosuke Fujisawa, Eiichi Suehiro, Hiroshi Yoneda, Michiyasu Suzuki	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery 49 : 110-115, 2006	CyberKnife Stereotactic Radiotherapy for Patients with Malignant Glioma,	K.Yoshikawa, K.Saito, K.Kajiwara, S.Nomura, H.Ishihara, M.Suzuki	脳神経外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Neurooncol 78(1) : 91-7, 2006	Improvement of functional outcome after radical surgery in glioblastoma patients: the efficacy of a navigation-guided fence-post procedure and neurophysiological monitoring,	Koichi Yoshikawa, Koji Kajiwara, Jun Morioka, Masami Fujii, Nobuhiro Tanaka, Hirosuke Fujisawa, Shoichi Kato, Sadahiro Nomura and Michiyasu Suzuki	脳神経外科
J Neurosurg104 : 150-156, 2006	Use of a Psltier chip with a newly devised local brain-cooling system for neocortical seizures in the rat,	Hirochika Imoto, Masami Fujii, Jouji Uchiyama, Hirosuke Fujisawa, Kimihiro Nakano, Ichiro Kunitsugu, Sadahiro Nomura, Takashi Saito, Michiyasu Suzuki	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 46(7) : 333-339, 2006	Various Magnetic Resonance Imaging patterns of Chronic Subdural Hematomas : Indicators of the Pathogenesis?,	Hirosuke Fujisawa, Sadahiro Nomura, Koji Kajiwara, Shoichi Kato, Masami Fujii, Michiyasu Suzuki	脳神経外科
麻酔	急性脳障害に対する脳低温療法の臨床	金子 唯、 前川剛志	先進救急医療センター
日本臨床救急医学会雑誌	不安定型骨盤骨折に対する TAE 後に殿筋壊死・後腹膜感染をきたした一症例	本田真広、 戸谷昌樹、 藤田 基、小田泰崇、 鶴田良介、 笠岡俊志、 前川剛志	先進救急医療センター
Journal of Critical Care	Efficacy and safety of intrapulmonary percussive ventilation superimposed on conventional ventilation in obese patients with compression atelectasis.	Ryosuke Tsuruta, Shunji Kasaoka, Kiyoshi Okabayashi, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本高気圧環境・潜水医学会 雑誌	当施設における急性一酸化炭素中 毒患者の治療法選択	藤田基, 鶴田良介, 松山法道, 金田浩太郎, 小田泰崇, 井上健, 笠岡俊志, 前川剛志	先進救急医療センター
中毒研究	硝酸ガス吸入による呼吸障害の3例 硝酸窒素酸化物	金子唯, 熊谷和美, 前川剛志	先進救急医療センター
J Anesth 20:113-117, 2006	Perioperative management for placement of tracheobronchial stents	Matsuda N, Matsumoto S, Nishimura T, Wakamatsu H, Kunihiro M, Sakabe T.	集中治療部
General Medicine 7(2), 2006: 53-60	Evaluation of medical interviews observed in Japanese Medical School OSC Examination.	Yohei Fukumoto, Fujio Murakami, Setsu Kobayakawa et al.	総合診療部
Fetal Diagn Ther 22(2):149-154, 2007	Ultrasound assessment prior to laser photocoagulation for twin-twin transfusion syndrome for predicting intrauterine fetal demise after surgery in Japanese patients	Ishii K, Hayadhi S, Nakata M, Sago H, Tanaka K	周産母子センター
Fetal Diagn Ther 22(1):7-9, 2007	A case of monochorionic twin pregnancy complicated with intrauterine single fetal death with successful treatment of intrauterine blood transfusion in the surviving fetus	Nakata M, Sumie M, Murata S, Miwa I, Kusaka E, Sugino N	周産母子センター
周産期学シンポジウム 24:77-82, 2006	母体・胎児・新生児の心肺機能低下 時の反応と対応 双胎間輸血症候 群(TTTS)をおこした胎児・新生児の 循環機能低下時の対応	中田雅彦、村田晋、 平野恵美子、本田梨 恵、砂川新平、 三輪一知郎、 住江正大、 前場進治、 杉野法広、村越毅、 佐合治彦、林 聡、 石井桂介、 高橋雄一郎	周産母子センター

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本臨床検査医学会誌 (2006年)	大学病院が支援するITを利用した地域医療形態 -山口トライアルを通してみる情報化の実際-	石田 博, 井上 裕二	医療情報部
医療情報学 (2006年)	一般化線形モデルによる肝細胞癌の入院医療費の推定	石田 博, 井上 裕二	医療情報部
Biological Pharmaceutical Bulletin	<i>Staphylococcus aureus</i> contamination on the surface of working tables in ward staff centers and its preventive methods.	Oomaki Masafumi, Yorioka Katsuhiko, Oie Shigeharu, Kamiya Akira	薬剤部
Biological Pharmaceutical Bulletin	Particulate and microbial contamination in in-use admixed intravenous infusions	Yorioka Katsuhiko, Oie Shigeharu, Oomaki Masafumi, Imamura Akihisa, Kmiya Akira	薬剤部
医療薬学	グルクロン酸抱合能に及ぼす抗てんかん薬多剤投与の影響	西村康孝,吉田久博, 片山博和,廣實清司, 古川 漸,神谷 晃	薬剤部
医療と薬学	自己導尿用カテーテル潤滑消毒液としてのグリセリンBC液60%「ケンイー」の有効性 ー殺菌力の評価ー	諏訪雅宣,尾家重治, 神谷 晃	薬剤部
山口医学	癌化学療法適正化のための処方監査システムの運用と評価	石本敬三	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用に関する研究	石本敬三	薬剤部

小計 8

合計 108

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病 院 長 松 崎 益 徳
閲覧担当者氏名	総 務 課 長 山 口 一 利 医 事 課 長 米 山 和 行
閲覧の求めに応じる場所	医 学 部 本 館 2 階 閲 覧 室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.7%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算 出 根 拠	A:紹介患者の数	9,678人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	4,710人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	1,150人	
	D:初診の患者の数	18,227人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 松 崎 益 徳
管理担当者氏名	総務課長 山 口 一 利 医事課長 米 山 和 行

		保 管 場 所	分 類 方 法	
診 断 に 関 する 諸 記 録	病院日誌	総務課	カルテは入院、外来別に、1患者1ファイル方式として、保存整理している。	
	処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	医事課		
	各科診療日誌、エックス線写真	各診療科		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部産学連携課 (小串地区支援係)		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	確規 保則 の第 状9 況条 の 2 3 及び 第 1 1 条 各号 に掲 げる 体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		総務課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		総務課
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全推進室		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全推進室		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全推進室		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専門の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 () 名 ・ 活動の主な内容： (医療安全推進室) <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会から提案された医療安全業務の実施 (2) アクシデント及びインシデント報告の分析並びに再発防止策等の検討, 提言 (3) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報, 啓発 (4) リスクマネジャーとの連絡調整 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療の安全、事故等の防止に関する委員会の規程整備 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル, インフォームド・コンセントの整備・監修, リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析, フィードバック (4) 医療事故防止のための職員研修の実施及び教育・指導 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医師、看護師及びコメディカルスタッフの全員を対象に、診療現場で生じる様々な事象を取り上げ、医療事故を未然に防ぐ講演会を 2 回開催した。 (2) 各診療科, 看護部, 各部の技師等リスクマネジャーの研修を定期的に月 1 回開催し, インシデント等を分析しながら教育・指導を行い, 各リスクマネジャーが各部署にフィードバックを行った。 (3) 卒後臨床研修医に対し, 基本的な安全管理に関し 2 回実施した。 (4) コメディカル・病棟クラーク・看護助手に対し, 基本的な安全管理に関し 2 回実施した。 (5) 1 年目の看護師を対象に, 医療の安全管理について振り返りの研修を 1 回実施した。 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p style="margin-left: 20px;">医療安全推進室において, アクシデント, インシデント報告について分析, 検討を行い, 委員会への報告, リスクマネジャー会議等での教育・指導を行った。</p> 	

